

学校に
アドボケイトがいたら
いいのに

意見交換会

「学校と子どもアドボカシー」

2024年2月14日(水) 19:00~20:45

第1部 堀正嗣さん×杉浦ひとみさん×喜多明人さん

第2部 グループに分かれて意見交換し全体でふりかえり

どなたでもZOOMで参加できます。無料です。
事前に参加申し込みをお願いします。

[参加申込み]

LINEから



Googleから



堀正嗣さん 約15年前、日本にイギリスの子どもアドボカシーを紹介し、それ以来、子どもアドボカシーを日本で実現ために熱心に取り組んでおられます。子どもアドボカシー学会会長。熊本学園大学教授。

杉浦ひとみさん 学校で起きる事件事故について、被害者の子どもの立場に立って解決に取り組んでおられます。弁護士。学校事件事故被害者全国弁護団の事務局長。

喜多明人さん 長年にわたり、子どもの権利や学校改革に取り組んでおられます。子どもの権利条約ネットワークなどの代表。早稲田大学名誉教授。



子どもアドボカシーは子どもの声、思いや願いにじっと耳を傾けること、そして子どもアドボケイトはそれを実行するひとです。

子どもアドボケイトは、子どもが思っていること、困っていること、不安や不満、願いをまるごと受け止めます。

そして、もし子どもが 自分の思いや願いを誰かに伝えたいときには、 どうするのがいいか、子どもと一緒に考え、子どもが声を伝えるのを助けます。

子どもに頼まれれば、代わって声をあげることもできます。

学校にもアドボケイトがいたらいいなと思いませんか？

共催：子どもアドボカシー学会
子どもアドボカシーセンター広島
<https://koad-hiroshim.jp>